



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

## もうすぐ新年度！見つけよう!! 「わが家の定番品」

常総生協の商品の考えをお伝えします。 ～農産・畜産 編～

常総生協の組合員さんに食卓にのせる食べものを選ぶ際に気を付けてほしいこと、厳選された常総生協取扱い商品の中でも自信をもって「これは必ず利用してほしい」というものを紹介します。毎週お届けする商品案内（カタログ）の中で、是非「わが家の定番」商品が見つかるとうれしいです。

### 農産品

地産地消・土づくりを大切に考える生産者たち

～基本は農薬を使わない栽培と、顔の見える関係づくり～



常総生協の農産物は、基本的に地場の旬のものを中心に扱っています。また、何かあった時にすぐに見に行ける、生産者と畑で気軽に話せる関係を大切にします。異常気象、後継者問題、TPP 問題など農業に係わる多くの問題がある中、**私たちは土づくりを大切に作る仲間とともに、地域が支える農業、農業が支える地域を大切にしていきます**（※市場からの調達は一切しません）。

#### □生産者を限定してお届けしています

常総生協の農産品には「●●さんの▲▲」といったものも多く、生産者グループを含め、すべて生産者を限定しています。これは私たちが自らの目で確かめた、栽培方法が明らかな生産者のものだけをお届けしたいという想いからです。できるだけ農薬を使用せず、土づくりを大切にされた生産者の農作物をお届けしています。天候不順などの自然条件が栽培に影響し、お届け出来ない事がありますが、ご理解いただき、生産者を支えていきたいと考えています。

#### ■旬のおすすめ野菜

**春** 柏田中の完熟トマト(千葉県・柏市)  
常総生協と産地の距離の近さを最大限活用させ、樹上で完熟させた濃厚な甘さのトマト。



### 2019 年 3 月の予定

#### ●生協基幹運営／地域活動・催し●

3月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は3月28日に行います。

3/15（金）歴史を学ぼう - 未来のために（チッソ・水俣講座）

3/21（木）ゆるカフェ@牛久

さようなら原発全国集会@代々木公園

3/27（水）定例理事会

#### ●提携・協同・連帯企画●

有機野菜セットの取り組み ～畑丸ごといただきます～

■地元の生産者と「生産 = 消費」の関係づくり

地元の家族、千葉から「旬」をお届けします



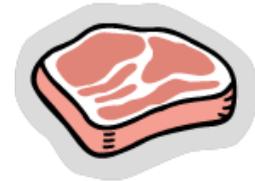
今はスーパーに行くと、いつでも好きな野菜を購入することができます。そのためには資材を使い、自然に逆らって野菜を育てることになります。そこには本当の栄養はないと考えます。

野菜には「旬」があります。自然の力をいっぱいを受けて育った野菜は栄養価が高く、野菜本来の甘みやほろ苦さを持っていて、とても風味豊かです。常総生協では生産者と旬の野菜を通して、ご家庭の食卓を繋いでいく関係づくりを目指しています。この取組は将来の地域自給を高め、わたしたちの生活を守っていくものだと考えます。

畜産品

国産良質を適量に

生産者、生産地、飼料、飼育方法が明確なものを取り扱っています。



誰がどのように育てたかがはっきりと分かり、飼料も確認できます。ストレスが加わらないように、のびのびと飼育した牛・豚・鶏の肉は、それぞれの美味しさを十分堪能していただけます。飼料に使用するトウモロコシはポストハーベストフリー、非遺伝子組み換えのものを使用し、抗生物質などの薬剤になるべく頼らず飼育しています。

常総生協一押しのお肉はやっぱり

岩瀬さんの豚肉（茨城県）



～おいしさのヒミツは自家製の発酵飼料～

岩瀬弘さん（故人）は養豚一筋 60 年の大ベテラン。今では当たり前になった雑種交配を最初に始めた人とも言われています。現在は娘の卓子さんが引き継いでいます。現代の養豚業で話題となっている大型養豚施設での豚を密飼いや、遺伝子組み換えの輸入飼料（ポストハーベストや抗生物質、ホルモン剤の添加）などのような養豚とは違い、一頭一頭の命を大切にしており、自分が見れる規模で豚を育てています。岩瀬さんは開放豚舎で地元で集めた食材を発酵させた発酵飼料を与えて健康に豚を育てます。ストレスなく、健康に育てた豚を 8～9 ヶ月待って出荷しています（一般的には 6 ヶ月前後で出荷）。岩瀬さんの豚は本当にいのちを頂くという事を気づかせてくれます。

そんな豚肉は脂身がとっても甘く、旨みのあるお肉になります。まずは塩、コショウだけで豚肉の味を実感してみてください。

市販品との違い

常総生協では国産の豚肉・牛肉しか取り扱っていませんが、外食産業やスーパーでは輸入の豚肉・牛肉が安く並んでいます（特に外食産業では 8 割近くが輸入品といわれています）。関税が下げられることで安いお肉が輸入されてくることで喜ぶ人もいるかもしれませんが、その反面、海外で広く使用されている成長ホルモン剤を混ぜたエサを食べた豚や牛が輸入され、人体への影響が懸念されています。同時に BSE をめぐる規制も緩和されつつあり、ますます食の安全性への不安は増えていく一方です。

また次週他部門をシリーズ化でお知らせします。

## 有機農業の基本の「き」！踏み込み温床お手伝いの報告

2/16(土) 清水農園さんのところで、踏み込み温床のお手伝いを行いました。総勢 11 名の参加となり、充実した日となりました。

### ■踏み込み温床とは？

踏み込み温床とはワラ・落ち葉・米ぬか・もみ殻などを混ぜ合わせ、微生物が分解するときに発生する熱を利用して野菜苗を育苗することです！現在、電熱温床が一般的になっておりますが、温度操作がしやすい反面、電気が必要で内部が乾燥しやすいという問題があります。踏み込み温床は

- ①外部のエネルギーを必要とせず、自然環境に負荷がかからない
- ②適度な湿度が保たれる
- ③温床後は良質な堆肥となる

ので、まさに一石三鳥の技術です。

現在の地場の有機野菜セット（清水農園、土れ味農園、くわはら農園、微生物農法の会、宇治田農場）の生産者は、みな踏み込み温床をおこなっています。踏み込み温床は 1 年のスタート、育苗の苗床作りとしてまさに有機農業の基本の「き」！清水さんと一緒にその真髄を触れてきました。



### 参加された組合員さんの感想

今日は大変お世話になりました。夫が是非参加したいと大変乗り気でびっくりしていました。市役所の企画課にいるので、仕事は様々ですが、今度「農泊」？の会議に出るそうで、今回参加したことで、収穫できなくても子供も、大人も楽しく学べ、作業に加われたということで、とても参考になったと喜んでおります。私としては、土地もありビニールハウスもあり落ち葉もぬかもあり休日に農業ができないかと、漠然と考えていました。とりあえず、農業に頼らない米の作り方を清水さんに教えて頂きたいなとも思っております。農業は殆ど経験がなく今回ももっと大変かと思っておりましたが、お役に立てたのかは別にして、楽しかったです。とてもいい企画をあ

りがとうございました。

(坂東市：T・Uさん)

お天気にもぐまれて、よい経験をさせていただきました。子供達ものびのびとした環境で存分に遊ばせてもらいながらも懸命に手伝う姿を見せたり、そういった意味でも、家族で参加できてよかったな—と思いました。(子供たちも「まだ遊びたい」と言っていました) 収穫のお手伝いではなく、生産過程のお手伝いっていいと思います。また、生産者さんとふれあったり、実際に現場まで足を運ぶと、身近に感じますね！(野菜 Set 注文しました～)

(つくばみらい市：I・Kさん)

常総生協のイベントとして援農や収穫体験は実施したことがありましたが、踏み込み温床のお手伝いは久しぶり。単純作業ながらも、踏み込み温床の重要性を学ぶことができ、また大人よりも子供の方が楽しく元気に作業していたように思えます。人数も必要な作業ですので、来年はぜひ他の生産者のところでもお手伝いして、生産者と組合員との交流も深めたいと感じました。

(商品部：小宮山)

# 常総生協つながろうふくしま 訪問ツアー募集

私たちの住む首都圏に電力を送電していた福島第一原発が、事故をおこし8年がたちます。私達は電気を利用していた立場からみれば、放射能事故の加害側の当事者でもあります。この間、常総生協では生活スタイルを見直し、原発を止める運動を続け、被災地とともに歩む取り組みを続けてきました。

8年が経ち風化が進む中で、現地への関心も薄れてきているのも事実です。原発事故によって地域が破壊されるとはどのようなことなのか、語り継いでいかななくてはと考えております。

福島でがんばる生産者とつながりながら、共に歩いていく活動を続けていきたいと思えます。

新年度より、相馬の水産関係の生産者、飯館村のお母さんたち、二本松有機農業研究会のみなさんとのつながりを今まで以上に深めていく取り組みを始めます。

第一弾として、相馬の水産関係の生産者訪問と福島浜通りの原発事故被災地の状況を視察するツアーを開催します。



**日時：2019年4月13日（土）7：30 生協本部集合 帰着19：00ごろ**

**訪問先（予定）：福島県 浜通り（富岡町、浪江町、相馬市）**

## 生産者訪問



相馬 海苔漁師  
久田 要一さん



相馬 センシン食品  
高橋 永真さん

**行程案：守谷→ 富岡町・浪江町 → 相馬 松川浦（生産者訪問）→ 守谷**

**参加人数：5～20名程度 ※組合員の方が対象です。**

**参加費用：4000円（交通費等）**

- ・昼食代は各自の負担となります。
- ・継続的な取り組みを目指しています。
- ・生協職員の運転する車でツアーをおこなう予定です。
- ・線量の高いエリアを通りますので、ご了承ください。
- ・参加費用は当日徴収します。

-----キリトリ-----  
常総生協つながろうふくしま 訪問ツアー（4月13日）に参加をします。✕切 3/29 まで

コース名 \_\_\_\_\_ 組合員番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

参加人数 大人 \_\_\_\_\_ 人、子ども \_\_\_\_\_ 人で参加します。